

諦めなければがんは克服できる！

免疫力を高め抗酸化力をつけて、がんの統合医療を実践



「がんはもともと自分の身体から発生したものですから、自己の免疫力と体内の抗酸化力を最大限に発揮すれば必ず克服できるのです」

理事長・院長 村上 正志

医療法人社団 貴正会 村上内科医院

京都市山科区にある村上内科医院。診療科目は内科・小児科・胃腸科・リハビリ科だが、医院の最も大きな特色は超高濃度ビタミンC点滴療法をメインとしたがんの統合医療だ。平成26年1月より京滋地区唯一の統合医療の認定医として免疫力を高め抗酸化力をつけて、がんの総合医療を実践している。

「日本人の2人に1人が発症するなど、がんは国民病ともいわれています。しかし、上手く治療を行えばステージ4など、どんなに進行していても治ることがあります。がんは必ず克服できる病気なんだ」ということをまずは皆さんに知って頂きたいですね」

こう話すのは院長の村上正志医師。平成19年からがん治療を始めて以来、これまで多くのがん患者をサポートしてきた。「うちにくる患者さんは全て身内のようなもの。自分の家族を診るつもりで、親身な対応を常に心がけています」

これまで村上内科医院には京都府下だけでなく、島根、静岡などの遠方から、さらにはアメリカからも村上院長のがん治療を求めて患者がやってきている。

村上院長は、がんを治療する上で重要視するポイントを次のように話す。

「がんを克服する上で大事なことは大きく2つあります。一つは自己の免疫力を高めること。そして身体に抗酸化力を身につけることです。この2つががん克服の根本で、大きな鍵になるのです」と力説する。

「具体的な治療に入る前に、なぜこの2つが重要なのかということ、その仕組みと共に患者さん自身で理解して貰うことも非常に大切なことです」という。初診に訪れた患者全員に、まず詳しい説明を行うのが村上院長の診療スタイルだ。